

旅行情報誌「るるぶ」がついに宇宙旅行に進出します！！
『るるぶ宇宙』

2021年3月30日（火）発売

JTBグループで旅行・ライフスタイル情報を提供する株式会社JTBパブリッシング（東京都新宿区、代表取締役 社長執行役員：今井敏行）は、「るるぶ」史上初の宇宙ガイド『るるぶ宇宙』を2021年3月30日（火）に発売します。

旅行ガイドブックの先駆けとして、「るるぶ」は40年近くにわたり、国内外の様々な地域を取り上げてきましたが、この度、いよいよ掲載エリアを「宇宙」へと拡大します。これまで当たり前だった「旅行」が気軽にできない現在の状況で、「るるぶ」編集部が「家でも楽しめる旅行先」を新たに考えた結果、出てきたエリアが「宇宙」でした。

近年は日本と宇宙がつながる嬉しいニュースが多く、小惑星探査機「はやぶさ2」のカプセル帰還、野口聡一宇宙飛行士の国際宇宙ステーション（ISS）への飛行、そして2021年の春には、星出彰彦宇宙飛行士もISSに向けて出発することが予定されています。さらに実業家による月周回旅行の参加者募集も始まり、もはや夢ではないと言われ続けてきた宇宙旅行が、ついに現実味を帯びてきました。

このようなタイミングも踏まえ、ニュースで宇宙に興味を持った方でも親しみやすいように、「るるぶ」が得意とするビジュアル重視の誌面で、宇宙開発や宇宙旅行の最新事情を分かりやすく紹介します。そのほか、太陽系の惑星の見どころ案内や、実際に購入できる宇宙食の紹介、JAXAの宇宙センターをはじめ宇宙関連スポットのガイドなど、バラエティに富んだ内容で、家で妄想しながら楽しむもよし、実際に使ってもよしの充実した一冊です。本書を読んで、来るべき宇宙旅行時代に備えましょう！

【本書の内容】



1. ニュースでも話題の国際宇宙ステーション (ISS) を大特集！

野口宇宙飛行士が滞在中で、星出宇宙飛行士の出発も予定されているISS。将来的に民間旅行にも利用予定のISSの行き方・過ごし方を、ビジュアルメインの楽しい誌面で紹介。宇宙飛行士たちの生活を元に、将来の宇宙旅行での過ごし方をワクワクしながら想像できます！



2. 宇宙開発と宇宙旅行の最前線を分かりやすく解説

民間のプロジェクトとして話題の月周回旅行をはじめ、実現が近いとされる宇宙旅行の情報が盛りだくさん。月面基地の建設など、より先の未来を目指した動向も紹介しています。また、旅行の話題だけではなく、サンプルリターンの大成功が話題を呼んだ「はやぶさ2」をはじめ、宇宙にまつわる最新事情も徹底調査！



3. 太陽系惑星の見どころや、全国の宇宙にまつわる体験施設も紹介

月や火星のみならず、将来的には太陽系全体を旅することも！？観光の際には必ず立ち寄りしたい数々の「名所」を先取りしてご案内。見学可能な宇宙センターや、全国の科学館・技術館など、すぐに役立つ宇宙スポットもたっぷり掲載しています。



【監修者紹介】

林公代（はやしきみよ）

日本宇宙少年団情報誌編集長を経て 2000 年からフリーライターに。宇宙・天文分野を中心に取材・執筆。20 年以上にわたって宇宙飛行士や宇宙関係者へのインタビュー、NASA、ロシア、日本でのロケット打ち上げ、すばる望遠鏡（ハワイ）、アルマ望遠鏡（南米チリ）など宇宙関連施設への取材を続ける。近著は『宇宙に行くことは地球を知ること 「宇宙新時代」を生きる』（野口聡一宇宙飛行士、矢野顕子と共著）。2005 年に『宇宙の歩き方』を上梓した宇宙旅行ガイドブックのパイオニア。

<書誌概要>

- 【書名】 JTB の MOOK 『るるぶ宇宙』
- 【定価】 1100 円（10%税込）
- 【発売日】 2021 年 3 月 30 日（火）
- 【仕様】 AB 判／本誌 96 ページ
- 【発行】 JTB パブリッシング
- 【販売】 全国の書店

<本誌のおもな予約サイト>

▼Amazon

<https://www.amazon.co.jp/dp/4533144497/>

<本件に関するお問い合わせ先>
JTBパブリッシング 直販課
TEL : 03-6888-7893